

Weekly コラム

令和 2 年 3 月 24 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

中央銀行の金はどこにある？

世界の中央銀行と公的機関は、外貨準備として金(ゴールド)を保有しています。2019年12月末現在、世界全体の中央銀行の金保有量は約3.4万トンですから、金の地上在庫(約16.5万トン)の五分の一は世界の中央銀行が保有していることとなります。

世界で最も金を保有しているのは米国(8,133トン)です。次にドイツ(3,366トン)、IMF(2,814トン)、イタリア、フランス、ロシア、中国と続きます。日本の金保有量は765トンで9位です。各国が保有する金は、すべて自国の金庫に保管されているかというそうではありません。各国が保有する金の多くは、米国の金庫にしっかりと保管されています。

米国で最も多くの金が保管されているのは、ニューヨーク連銀の地下倉庫です。約7,000トンの金が保管されているとされ、各国が保有する金が所狭しと並べられています。有名なのはケンタッキー州にあるフォート・ノックスです。ここは軍事基地で、あらゆる攻撃に耐えられるように防空建築になっています。1936年に金塊保管所を設置し、約5,000トンの金が保管されています。もう一か所はウエストポイントにある財務省管理の金塊保管庫です。この三か所に、米国の金だけでなくヨーロッパ各国、IMF、そして日本の保有する金の多くが保管されています。

各国の中央銀行は1989年から2009年までの20年間、保有している金を年平均で400トン売却していました。しかしリーマンショック後の2010年以降は、10年連続で買い増してい

まして、2019年の金購入量は650トンと過去最高水準となっています。特に金準備を増やした国はロシア、中国、トルコ、ポーランドで100トン前後ずつ積み増しています。これらの国々が金を購入する背景には、米国との関係悪化や米国債の保有残高を減らしたい意向があります。そのため、積み増した金は米国の保管庫ではなく、今後も自国の保管庫に積み増していくことが考えられます。

世界の中央銀行は今後も金準備を増やしていくのでしょうか。無国籍通貨といわれる金の価格や動向を見ることは、世界の大きな流れを把握するのに役立つのではないのでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。